2．平成19年度全体概要

○山形河川国道事務所では、一級河川最上川や一般国道5路線の整備や管理（14・15頁参照）を通じて、安全で安心な生活の確保や豊かな生活の実現等を目指します。

○平成19年度の総事業費（受託等除く）は約363億円で、うち河川関係事業費約29億円、道路関係事業費は約334億円です。

○河川関係事業では、支川須川において洪水時の流下能力を確保する引堤事業の一環として、**右岸引堤区間（天童市）で最後の構造物である「寺津排水樋門」を完成**させ、上下流から進めてきた新堤防の一連完成堤化を図ります。

さらには、河川堤防の詳細点検」の結果を受け、中山町長崎の最上川右岸堤防において、**浸透水に対する堤防の安全性を高める、堤防質的整備（ドレーン工法）を実施**します。

さらに、**河川管理施設の機能を着実に発揮するための維持・保全**並びに**危機管理対応のさらなる連携強化に向け、各自治体への情報提供支援等**を進め、安全で安心できる国土づくりを推進します。

また、最上川の魅力を活かした観光利用を促進し、**地域活性化を支援**する**最上川村山フットパス（村山市）の整備を継続**し**今年度の完成・供用を開始**します。

○道路関係事業では、**主寝坂（しゅねざか）道路の全線供用（平成19年度供用延長4,900mを含めて全体延長9,900m）、上山（かみのやま）バイパスの部分供用（延長1,200m）及び、赤湯（あかゆ）バイパスの部分供用（延長2,000m）**を図ります。　また、東北中央自動車道（福島～米沢間）・（東根～尾花沢間）、新庄北道路の工事を推進するとともに、防災工事、橋梁の耐震補強、路面の補修、バリアフリー、沿道環境改善事業等を進め、道路交通の安全、円滑化を図ります。